

さつま町

永野区公民館

団体の紹介・活動の目的

永野校区はさつま町の東部に位置し、霧島市や伊佐市に接し、現在は、過疎・高齢化が進む430世帯810人の農山村で、昔は永野金山で賑わっていました。昔より培われてきた「結いの精神」で、子どもから高齢者まで地域総出で豊かな自然と歴史を活かした共生・協働の地域づくりを進めています。

地域づくり活性化計画に基づき、歴史的風致の維持向上に繋がる事業推進と各公民館を中心に一体となった地域連携の活動を展開し、地域住民の教育・福祉・安心安全・文化の向上と健康増進のため、活力とぬくもりに満ちた地域づくりに努めています。

連携・協力している団体など

さつま町、さつま町教育委員会、永野の9公民館、小中高校生、子供会育成会・高校生保護者会、消防永野分団、交通安全協会、結いきらめき会、西郷菊次郎顕彰会、住み良い永野を創る会、見守り隊、関東永野会など

活動の内容

地域見守りネットワーク支援事業や永野金山等の地域資源を活かしたウォーキング大会の開催など、地域が一体となった活動に取り組んでいます。コース内8kmを箒で掃くなど、日本一きれいなコース整備と小・中学生の「語り部」など万全の準備とおもてなし体制で待ち受け、地域総出のイベントが好評です。また、小・中学生とPTA・地域が一体となった伝承芸能「秋津舞」の保存活動を行い、運動会や南方神社の秋祭りで披露しています。永野金山の鉱業館長を勤めた郷土の偉人「西郷菊次郎」の顕彰活動を行うとともに、永野金山遺跡群の保存整備と活用を図っています。

- 永野ウォーキング大会や金山探検隊の開催（遺跡の保存整備等）
- 郷土芸能「秋津舞」の伝承保存活動と披露
- 西郷菊次郎顕彰祭支援
- 結いきらめき会（脳トレ、サロン交流会、地域見守りネットワーク支援事業等）
- 桜並木の整備と関東永野会交流会（総会参加・桜祭り等）

①



「永野ウォーキング大会と金山探検隊」

永野金山の歴史と遺跡を活かしたウォーキング大会を通して、交流人口を増やし、地域連携と活性化を図っています。

②



「郷土芸能『秋津舞』の伝承保存活動」

小・中学生が地域の太鼓踊りを伝承し、PTAと地域が一体となって取り組み、地元神社の大祭や運動会で披露しています。

③



「結いきらめき会（脳トレ、サロン交流会等）」

各公民館で福祉サロンを組織し、心身の健康と交流を図っています。

④



「桜並木の整備と関東永野会交流会」

関東永野会の桜並木を管理し、夜間のライトアップや桜祭りを開催しています。